

第1 学年道徳学習指導案

平成28年10月26日（水）第5校時

- 1 主題名 みんなが楽しいかくれんぼ 【内容項目 4－（1）】
資料名 かくれんぼ （出典 彩の国の道徳「きょうもげんきに」 埼玉県教育委員会）

2 主題設定の理由

（1）ねらいとする道徳的価値について

本主題は、低学年の内容項目4－（1）「約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること」をねらいとしており、児童が生活する上で必要とされる社会規範を守るとともに、公德心を持ち、それらの精神を日々の生活の中に生かしていく児童を育てようとする内容項目である。これは、中学年の4－（1）「約束や社会のきまりを守り、公德心をもつ」ことや、高学年の4－（1）「公德心をもって法やきまりを守り、自他の権利を大切にしながら進んで義務を果たす」ことへと発展していく内容である。児童が成長することは、同時に社会や集団の様々な規範を身に付けていくことでもある。まず、約束やきまりを守ることができるようにすることが必要である。その過程で公德心を養い、さらに、社会の法やきまりのもつ意義について考えるとともに、それを遵守し自他の権利を尊重する精神を身に付けるよう指導していく必要がある。

この時期の児童は、まだ自己中心性が強く、自分勝手な行動をとったり自分に有利なルールをつくったりすることが多い。そこで、かくれんぼという身近な題材を取り上げ、自分のことだけではなく周りの人のことも考えることで、みんなが楽しく過ごせるということに気付かせることを通して、集団生活の中におけるきまりやルールの意味を考えさせ、守っていこうとする態度を養いたいと思い、本主題を設定した。

（2）児童の実態

本学級の児童は、きまりは守らなくてはいけないものだと考えている。学校生活にも慣れ、大きな声で挨拶や返事をする、教師や友だちの話を聞く、チャイム着席をするなど学校のきまりや約束を守ることがだいぶ定着してきた。

廊下は静かに右側を歩くという約束があることを知ってはいるが守れなかったことがあるかの質問に、「ある。」と半数の児童が答えた。理由としては、「早く外に出たかった」「トイレに急いで行きたかった」というものだった。児童は約束やきまりの大切さを言葉では分かっているが、自分勝手な理由で守れないことがある。

以上のことから、何のためにきまりや約束があるのかを考えさせていき、きまりを守ることでみんなが気持ちよく過ごせるということに気付かせ、どんな時でも自分勝手に行動しないで、みんなのことを考えてきまりを守ろうとする態度を育てていきたい。

（3）資料について

本資料は、主人公のくまさんが仲間たちとかくれんぼをするなかで約束を破ってしまい、みんなが心配する様子を通して約束を守ることの大切さを学ぶことのできる資料である。

くまさんは体が大きくかくれんぼではいつもすぐ見つかってしまう。仲間たちといつも遊んでいるが、以前りすさんが川に流されそうになったことがあり「小川を越えないこと」というのがみんなの約束になっている。今日は、うさぎさんが鬼となりかくれんぼをしている。くまさんは今日こそは上手に隠れたいと、隠れる場所を探すなかなかいい場所が見つからない。そんなとき、小川の向こう側にちょうどいい太い木を見つける。「もう、いいかあい。」の音が聞こえ時間のない中、今日は見つかりたくないという気持ちの強いくまさんは、小川を越えて木の陰に隠れてしまう。その後、どこを探してもくまさんが見つからない仲間たちは、大きな声でくまさんを探し始める。その声がかくまさんの耳にも届き、くまさんは大慌てで仲間たちの前へと飛び出す。仲間たちのくまさんを心配する姿を見て反省し、仲間たちに謝るという内容である。

いつも最初に見つかってしまう、体の大きなくまさんの「太い木の陰に隠れたい」という切実な思いから、約束を破ってしまう気持ちに十分共感させたい。身勝手さから安易に遊びのきまりを破り、仲間

に心配をかけてしまう主人公の経験を通して、きまりやルールを守ることの意義を考えさせ、きまりやルールを守ることがお互いの楽しい生活につながることを実感させたい。

3 研究テーマとの関わり

本校の研究主題

『自分の考えを持ち、意欲的に学び合う児童の育成』
～主体的・協働的な学びへの授業改善～

【視点1】主人公の気持ちになって考える工夫

- ・児童の関心を高め、条件・状況の理解を深めるために、紙芝居を用いて、資料を伝える。
- ・主人公の揺れ動く気持ちがとらえやすいように、動作化を通して、「今日は見つかりたくない」と強く思うくまさんの気持ちを押さえる。

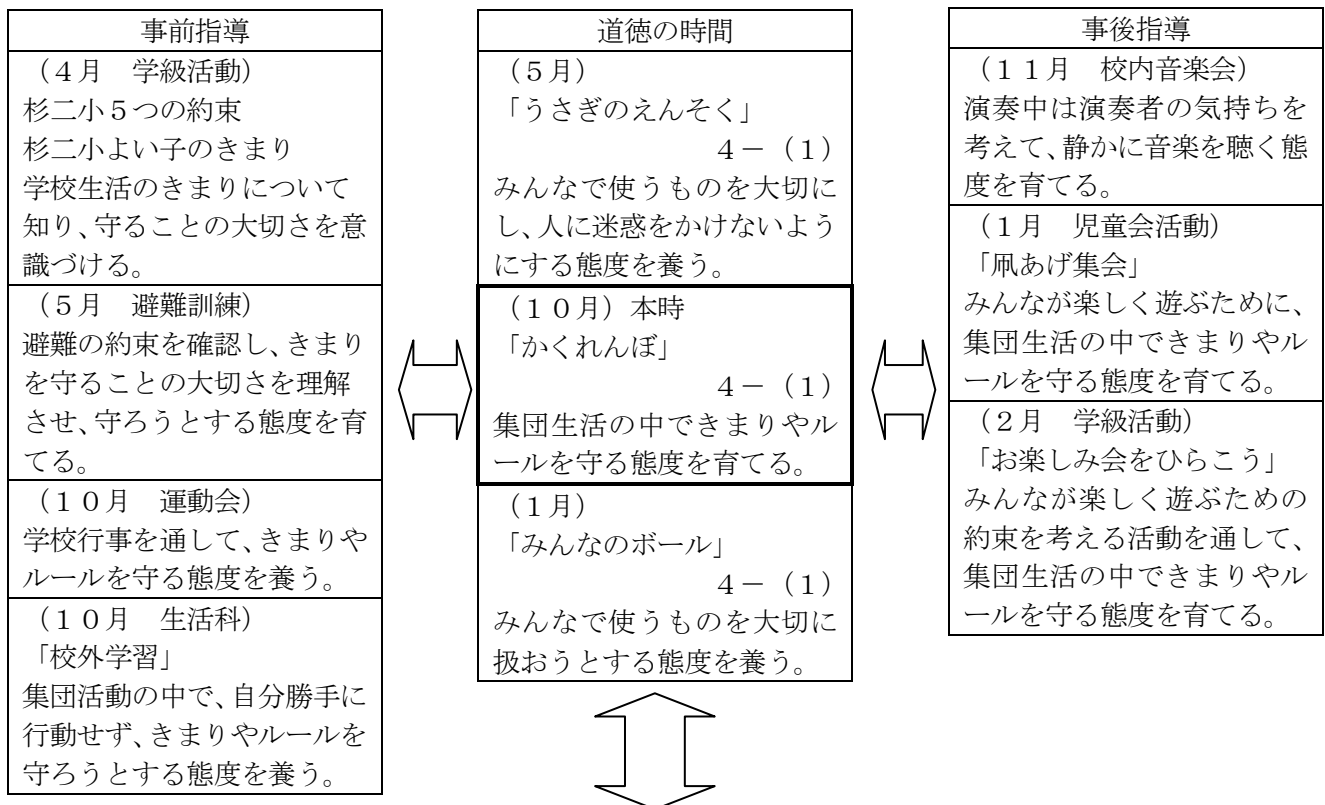
【視点2】より深く自己を見つめ考えるための工夫

- ・展開の最後に学習を振り返り、書く活動を取り入れることにより、自己を見つめる時間を設ける。そして、今までの経験を振り返りながら、これからの生活に生かせるように考えさせる。また、発表することにより、一人の考えを他の児童に広められるようにする。

【視点3】学び合いの工夫

- ・みんなが心配していたことに気づき、「みんなが楽しいかくれんぼにするためには、これからくまさんはどうすればいいか」を二人組になって考えることで、一人一人の考えを深められるようにする。考えを深めるために、ペア、グループの交流、全体での話し合いを児童の実態に合わせて取り入れる。そのために、机の配置を工夫する。

4 他の教育活動との関連



家庭との連携

①杉二小よい子のきまりを学級懇談会で配付し説明する。②道徳授業の公開 ③授業の取組や様子を学級通信や教室掲示 ④家庭でもきまりやルールを守ることについて話し合ってもらう。

学級通信や教室掲示をすることで、家庭でもきまりやルールがあることに気づき、きまりやルールを守って生活できるようにする。

5 本時のねらい

集団生活の中でのきまりやルールを守る態度を育てる。

6 学習指導過程

段階		○学習活動・主な発問	予想される児童の反応	・指導上の留意点 ☆評価（評価方法） <input type="checkbox"/> ユニバーサルデザイン	時間
導入	気づく	○かくれんぼで遊んだことを話し合う。 ・かくれんぼはどんなあそびですか。 ・みんなが遊んだかくれんぼには、やくそくがありましたか。	・みんながかくれて、おにが見つかる遊び ・休み時間にみんなでやった。	・かくれんぼの話から本資料の約束へと話題をつなげていく。 <input type="checkbox"/> きまりや約束について考えることを伝える。	3分
展開	とらえる	○資料について条件・状況を知る。 登場人物 くまさん りすさん うさぎさん 動物たち 条件・状況 ・森の中で、動物たちがかくれんぼをしている。 ・この前りすさんが小川で流されそうになったので「小川を越えないこと」がみんなの約束になっている。 ・体が大きいくまさんは、いつもすぐに見つかってしまう。 ・かくれる場所がなかなか見つからないくまさんは、川の向こう側に太い木を見つける。 ○紙芝居を見ながら資料を聞く。		・条件・状況を説明し、くまさんの気持ちがわかるように、紙芝居を読む。 ・りすさんが流されそうになったことがあるので「小川をこえないこと」がみんなの約束であることを押さえる。 <input type="checkbox"/> 紙芝居の絵を示しながら判読する。 ☆話し合う意欲が高まったか。（観察）	5分
	深める	○くまさんの気持ちを中心に話し合う。 1 かくれる場所を探し太い木を見つけた時のくまさんの気持ち ・かくれる場所を探しながらくまさんはどんなことを思ったでしょうか。 ・向こう側にちょうどいい木を見つけた時、くまさんはどんなことを思ったでしょうか。	・太い木があればかくれられるのに。 ・いつもすぐ見つかったから、今日は見つかりたくない。 ・いい場所ないかな ・あの木ならかくれられるぞ。 ・木のところへ行きたいけど、川を渡っちゃいけない約束だった。どうしよう。	・いつもすぐ見つかってしまうので、見つからないような場所を見つけたいくまさんの気持ちに共感させる。 ・「どうしよう・・・」と迷っているくまさんの気持ちを考えさせる。 ・小川を渡ってしまうと約束を破ることもふれる。 ☆迷っているくまさんの気持ちを捉えられたか。（発言）	25分

		<p>○資料後半の話を聞く。</p> <p>2 小川を跳び越え、太い木の陰にかくれているときのくまさんの気持ち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小川を跳び越え、太い木のかげにかくれているくまさんは、どんなことを思ったでしょうか。 ・うさぎさんやりすさんはどうしていましたか。 <p>3 くまさんはこれからどうすればいいかを考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが楽しいかくれんぼにするためには、これからくまさんはどうすればいいでしょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ここなら見つからないぞ。 ・やったあ。うまくかくれられたぞ。 ・しめしめ ・心配して探していた。 ・大声で呼んでいた。 ・危険なことはしない。 ・約束を守る。 ・小川を越えない。 	<p>☐場面絵を示しながら話す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割演技を取り入れて、くまさんの気持ちを考えさせる。 ・太い木の陰に上手に隠れ、喜んでいるくまさんの気持ちにも共感しつつ、みんなが心配していることにもふれる。 <p>☐ペアで考えを交流した後、全体で話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなに心配をかけたことを素直に謝ったことを押さえる。 ・更に、次のかくれんぼではどうするかを考えさせ、みんなが楽しいかくれんぼにするためには、きまりを守ることの大切さに気付かせる。 <p>☆みんなが楽しく遊ぶためには、約束を守ることが大切なことに気付いたか。(発言)</p>	
	みつめる	<p>○自己を見つめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなの周りにはどんな約束がありますか。 ・約束を守ってよかったなと思うことはありますか。 ・「やくそく」という言葉を使って、今日の振り返りを書きましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・杉二小五つの約束 ・聞き方ステップ ・チャイム着席 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中では様々な約束やきまりがあることを改めて気付かせたい。 <p>☆約束を守ることの大切さを実感し、実践意欲を持つことができたか。(発言・ワークシート)</p>	10分
終末	あたためる	<p>○教師の話を聞く</p>		<p>☆これからの生活に生かそうと考えている。</p> <p>(観察)</p>	2分

7 評価の観点

○児童側の観点

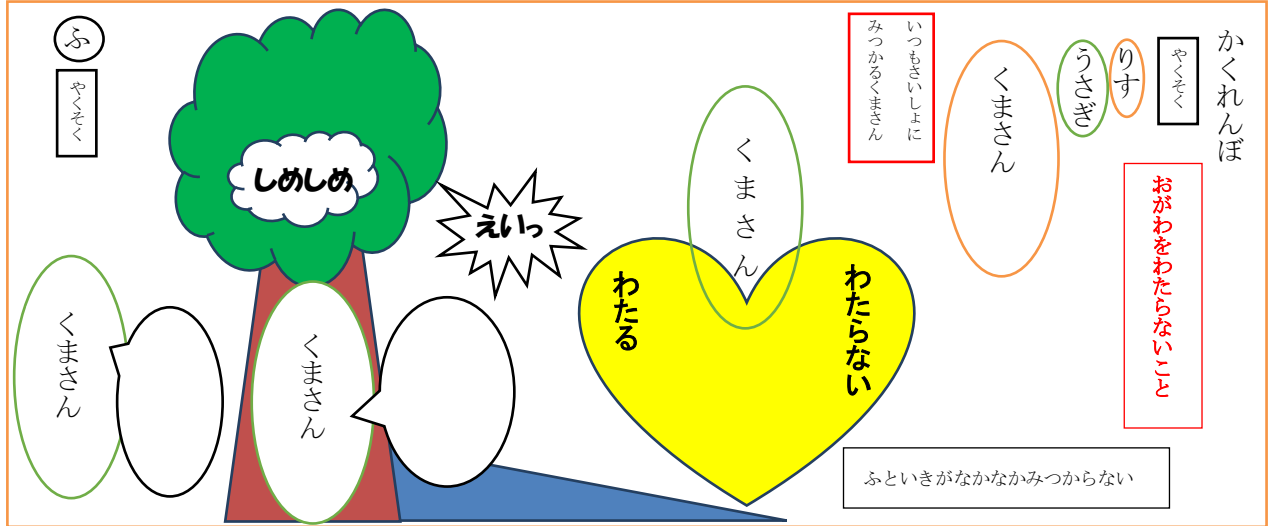
- ・主人公の気持ちに共感して、考えることができたか。(発言・観察)
- ・約束を守ることの大切さを知り、実践意欲をもつことができたか。(発言・ワークシート)

○教師側の観点

- ・児童が主人公の気持ちに共感できるような板書や発問の工夫ができたか。
- ・授業を通して、児童がどんなことに気づきを得られたかを、適切に評価することができたか。

8 備考

(1) 板書計画



(2) 資料分析

スタートの条件・情況 主人公：くまさん 相方：うさぎさん
 くまさんは、友だちとかくれんぼをしている。「小川をこえないこと」が動物たちの約束。それはりすさんが小川で流されそうになったからできた約束。しかし、体の大きなくまさんはいつもすぐにおにに見つかってしまう。太い木を見つけるが、それは渡ってはいけない小川の向こう側にあり悩んでしまう。

《話題につなげたい場面》

《動き、気持ちの変化、関わり合い、キーワード等》

